

【みやき町の特徴や誇れるもの】

- ・奈良・平安時代の道路や江戸時代の長崎街道が東西に走り、交通の要衝として古くから栄えてきた。
- ・江戸時代の治水の神様と呼ばれる、成富兵庫茂安が築いたお茶屋の堤や中原水道などの施設が多く残されている。
- ・江戸時代中期から始まった白石焼は、今でも数軒の窯元がその伝統を受け継いでいる。
- ・日本最古の气象台といわれる綾部神社の旗揚げ神事や、千栗八幡宮の粥占いなど、古くから伝わる伝統行事が多くみられる。
- ・秋には、町内各地で浮立が行われ、子どもから大人まで参加して、地域の伝統文化を保存、継承している。

教育委員会所在地:みやき町大字東尾6436番地2
連絡先:0942-89-3052
小学校 4校、中学校 3校

【白石焼体験学習】

北茂安小学校、北茂安中学校、三根中学校では、総合的な学習の時間に地域についての調べ学習などを行っている。その一環で地域の伝統工芸である白石焼の体験活動を行った。体験をするにあたり、地域で白石焼をされている裕翠窯の方に協力していただいた。

白石焼の歴史から、型作り、素焼き、釉薬がけ、本焼き、完成まで指導や助言を頂いた。子どもたちは意欲的に取り組み、楽しみながら白石焼についての学習を深めることができた。



【郷土に関する副教材】

3・4年生の社会科副読本として「わたしたちのみやき町」を作成し授業で活用している。

みやき町の歴史や文化・特産品等を写真や資料を使って分かりやすくまとめており、この副教材を活用することで「ふるさとみやき町」の良さを知り、郷土を愛する心を育む教育に取り組んでいる。

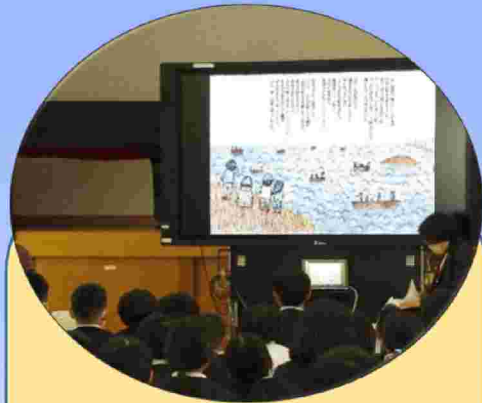
※令和5年度に改定



【綾部神社神事】

中原校区の綾部神社は、日本最古の气象台ともいわれ、旗揚げ神事、旗降ろし神事が行われる。

中原小学校では、綾部神社の浮立行列に参加したり、旗降ろし神事の際に行われる奉納相撲に参加したりすることを通して、郷土の伝統文化を受け継ぐことの大切さを学ばせている。



【命について考える日】

三根東小学校では、昭和25年2月13日に天建寺渡し船転覆事故が発生した。児童6名の尊い命が失われた悲しい事故を語り継ぎ、亡くなられた方々に哀悼の意を表すとともに、子どもたちに「命の大切さ」について考えさせるため、毎年2月13日に開催している。

今年も、花供養話製作実行委員会から「天建寺渡し船転覆事故」の紙芝居を贈呈していただいた。